

コロナウイルス対策について

令和2年4月5日

デイサービスセンター まんよう

代表取締役 上山 三幸

現在コロナウイルス感染は重大な局面を迎えています。医療崩壊となれば助かる命も助けられない事態に陥る恐ろしい状況に大阪は起きており、奈良県も時間の問題ではないかと考えます。

日赤医療センターの医師からその状況を何とか食い止めるために拡散を希望されているメッセージです。

この数日でコロナウイルス感染症の患者さんが急増しています。私の病院のコロナ病床は満床になりました。重症者もいます。

現場ではすでに医療崩壊のシナリオも想定され始めています。

正直、報道よりも一般のみなさんが思っているよりも、現実是非常に厳しいです。

近い将来、本来助けられるはずの命が助けられなくなる事態になりそうだと感じています。今まで、どんな人でも少しでも生きたいという思いがあるのなら、全力で命を助ける医療をやってきました。

でも、このまま感染が拡大すれば、「助ける命を選択する医療」にシフトしなければならなくなります。

だから外出を控えてください、人と会わないでください、感染を食い止めるにはこれしか方法はありませぬ・・・生きていくための最低限の外出だけにしてください・・・

このメッセージを目にし、周りと同じ対応を行い、何も起きないことを願うのではなく当社は重症心身障害児・者の方々が利用される数少ない施設としていち早く子どもたちの命を守る独自の対策を打ちだし決断しなければならぬと考えました。

そしてそれは当社だけでなく利用されている方々、ご家族の方々と共に助け合わなければ子どもたちの命を守れません。皆様のお力が必要です。どうぞよろしくお願い致します。

つきましては当社が検討した対応策を別紙にてご報告致します。今回の対応策はモデルケースもなく賢明であるかは不確実です。ですが今後も日々情報把握、定期評価に努め必要な対策を検討し変化させていくつもりであります。また皆様からのご意見は当社にとって必要不可欠です。ご意見やご提案等を頂戴頂ければと願います。

当社対応策

対応策の目的

- (1) 感染を起こさない
- (2) 万が一感染が起きたとき
 - ① 感染拡大を最小限に食い止める
 - ② 感染経路が明らかとなり必要な対策を行える

対応策

生活介護を午前と午後の部に分ける。午前は医療ケアがない方、午後は医療ケアがある方（完全に分けることが難しく医療ケアがある方の中にない方も含まれます。）当社にて予め午前、午後に利用される利用者を設定しております。

- ① 定員は午前9名、午後9名までとする
- ② 午前の部/9時30分～12時 施設内消毒/12時～12時30分
午後の部/13時30分～16時
- ③ 主に入浴介助、動作、ストレッチを中心に行い集団活動、食事介助は実施致しません。
- ④ 送迎はできるだけ各家庭でご協力をお願いします
- ⑤ 職員は午前、午後で分け当面午前、午後で配置された職員は専従する。(例えば午前の生活介護に配置されれば当面は午前の生活介護にしか従事させない)
職員人数はそれぞれ5名程度とする
- ⑥ 理由がありどうしても1日利用が必要な方、送迎ができない方、食事提供が必要な方がおられましたらご相談に応じます。1日の利用できる枠を3名設け、1日専従担当職員を3名とする。(入浴・食事提供)
- ⑦ どうしても送迎が必要な方についても送迎担当者は午前、午後配置されている職員が実施する
- ⑧ 現在当社が実施している対策を継続
 - ・ 職員の体温測定、体調管理、報告、手洗い
 - ・ 電車通勤者においては当社送迎を実施又は公用車にて通勤
 - ・ マスク着用義務化
 - ・ 1時間に一回の換気
 - ・ 利用者以外のご家族であっても滞在せず速やかに退室して頂く